

press release

2015年3月6日

(本資料は、ロンドンにて2015年3月4日付で配信した発表資料の参考訳です。)

スタンダードチャータードは、持続的な利益成長軌道への回帰を目指し、 総合的経営戦略を強化

**新経営指標： 普通株式等 Tier 1 (CET 1) 比率は 2015 年度およびそれ以降 11–12%、
自己資本利益率 (ROE) は中期的に 10% 以上をそれぞれ実現**

- 持続的コスト削減策で 2015 年度削減見通しは既に 4 億米ドルが確定。今後 3 年間の削減目標は総額 18 億米ドル
- リスク加重資産の圧縮額は現在までに 85 億米ドル。今後 2 年間の圧縮額は新たに 250–300 億米ドル強を想定
- リテール部門再編に伴い 4 千名 (2014 年度 2 千名、2015 年度 2 千名) を削減、80–100 支店を閉鎖
- 不採算・非戦略的な 15 事業の切り離しを完了
- 2014 年度営業利益¹ は前年比 2% 減の 182 億米ドル
- 2014 年度税引き前利益² は、2013 年度の 70 億米ドルから 25% 減の 52 億米ドル。

注¹) 自己クレジット調整 (OCA) を除きます。

注²) 2014 年度中に発生した OCA・営業権 (暖簾代) 減損・和解金を除きます。

スタンダードチャータード PLC (本社: ロンドン、最高経営責任者: ピーター・サンズ) は、3 月 4 日付で、2014 年度通期決算を発表しました。同決算は、厳しい市場環境に長引く低金利・低ボラティリティ・規制変更が相まって、不本意なものとなりました。

経営施策

当行グループは、2014 年度を通して業績向上のために様々な経営施策を進めてきました。

- 2015 年度のコスト削減見通しでは既に 4 億米ドル分が確定しています。リテール部門では 2014 年度に約 2 千名の人員削減計画を発表し、同年度第 4 四半期にその計画を完了しました。2015 年度には、さらに 2 千名の削減を予定しています。
- 不採算・非戦略的な 15 事業の切り離しを完了、または切り離しの手続き中です。グループ全体で、無担保融資・コルレス銀行サービスなどを含む、リスクの大幅軽減を推進しています。
- 当行グループの自己資本比率は 2014 年度に 50 ベーシスポイント (bp) 増強しました (上半期に 20bp・下半期に 30bp)。これは、主に法人営業部門の、低収益の取引先に関わるリスク加重資産 85 億米ドルを再配分することで達成しました。

経営指標

取締役会は、自己資本比率・収益率・コストについても具体的目標を設定しました。

- 普通株式等 Tier 1 (CET 1) 比率: 2015 年度に 11–12% を達成し、翌年以降同水準を堅持します。

- 自己資本利益率(ROE)：中期的に 10%以上を目指し、当行グループの資本コストを上回る ROE を持続的に達成します。ただし、CET 1 比率増強に必要な施策にも取り組むために、この目標の達成には一層の経営努力と時間を要すると認識しています。
- コスト削減目標：今後 3 年間で 18 億米ドルを目指します。その中には年間約 4-5 億米ドルの持続的コスト削減分が含まれます。残りは事業見直しで目標を達成します。
- リスク加重資産圧縮：今後 2 年間に低収益の取引先・不採算事業に関わるリスク加重資産の内、250-300 億米ドルの圧縮を目指します。

2014 年度通期業績ハイライト

収益は、リスク軽減策の影響を部分的に受け、前年比 2%減の 182 億米ドルでした。

特別要因調整後のコストは前年比 3%以下の増加にとどまり、102 億米ドルでした。当行グループの規制関連コストは 2014 年度に 2 億 3,700 万米ドル増えました。この増加分を除くと、前年比は横ばいでした。

減損費用の総額は 7 億 9,800 万米ドル(前年比 46%)の増加となりました。その内、不良債権に関わる金額は 5 億 2,400 万米ドル(前年比 32%)増え、21 億米ドルに上りました。

2014 年度には次のような特別要因が発生しました。

- 再編関連コストは 1 億 8,100 万米ドルで、その約 4 分の 1 は韓国での人員削減に伴うものでした。
- 英国の銀行税は前年比 56%と大幅に増え、3 億 6,600 万米ドルとなりました。
- 2014 年 8 月、当行グループは米国当局と 3 億米ドルの和解金支払いで合意しました。
- 韓国では、個人再生手続き申請件数に改善傾向が見え始めていますが、韓国事業の見通しを詳細に審査した結果、損失が続く現状を考慮して、7 億 2,600 万米ドル相当の暖簾代(営業権)償却を行うことにしました。これは、2013 年度に実施した 10 億米ドルの減損に次ぐ経営改善策です。今回の償却は、経営安定の観点から既に全額引き当てが済んでいるため、当行グループの業績・自己資本比率には直接影響はありません。

以上を考慮に入れた調整後の税引き前利益は 52 億米ドルで、前年比 25%の減益でした。調整後の 1 株当たり利益は 28%減の 146 セント、調整後の ROE は 7.8%となりました。1 株当たり配当額は前年度据え置きの 86 セントです。

バランスシートは引き続き盤石で、多様性・健全性・流動性のいずれも優れています。総預金高は 2014 年度下半期に 6%増えて、総額 290 億米ドルに上りました。

顧客向け貸付金は 2014 年度下半期に 5%減少して総額 160 億米ドルとなりました。貸付金の減少は、個人向け無担保融資のリスク軽減、エネルギー・鉱山・採石部門向け融資の減少、低収益の取引先の見直し、高水準の流動性、さらにこれらの動きに伴う早期返済・通貨の早期換算を反映しています。

その結果、預貸率は現在 70%を下回っており、流動資産比率は 32.2%となっています。

コンプライアンス策拡充

当行グループはコンプライアンス策の拡充に力を入れています。具体的には、法務・コンプライアンス部門の行員を 50%増員するとともに、金融犯罪コンプライアンス(FCC)部署の行員も 2 年間で倍以上に増やしました。特に FCC 部署には 10 数人の専門性の高い幹部職員を配属しており、2015 年も増員する予定です。

金融機関にとって極めて重要な金融犯罪の防止、およびその機能強化を目的とする、50 超のプロジェクトや施策からなる金融犯罪リスク軽減プログラムが立ち上がっています。当行は、金融犯罪への対策を、重要な経営戦略の一環として位置づけています。

金融犯罪防止策の強化に向けて、当行グループは、取締役会級の権限を有する金融犯罪リスク委員会を設置しました。同委員会は社外取締役と専門顧問団で構成されています。

当行グループ最高経営責任者であるピーター・サンズは、次のように述べています。

「2014 年度は厳しい年でした。その結果、当行の業績は不本意なものとなりました。業績の回復を目指し、経営戦略の先鋭化・組織強化・コスト削減・資本の有効配分などに関して、既に行動を起こしています。このような経営課題を実践することで、持続的な利益成長軌道への回帰を実現し、資本コストを上回る ROE を達成できると確信しています。」

まとめと見通し

2014 年度は厳しい 1 年となりましたが、その中で当行グループは組織改革を行い、非コア事業の切り離し、実効性のある経営戦略に裏付けられた新たな経営指標を設定しました。2015 年度はそうした経営戦略をさらに強化し、法人営業部門・コマーシャル事業部門・プライベートバンキング部門・リテール部門の業績向上に、グループを挙げて取り組んでまいります。

—

詳細につきましては、下記の担当者へご連絡ください。

Jon Tracey, Global Head, External Communications

(w) +44 20 7885 7613

(m) +44 7730 051846

jonathan.tracey@sc.com

Simon Kutner, Head of External Communications, Financial & Corporate

(w) +44 20 7885 8696

(m) +44 7876 002 013

simon.kutner@sc.com

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行

コーポレート・アフエアーズ部

Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312

CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場し、約 90,000 名の行員を擁する国際的な金融グループです。世界で最も活気に満ちた市場—アジア・アフリカ・中東地域において 150 年以上の歴史を誇り、ダイナミックな投資や貿易、そして資産形成を行うお客様を対象に、ビジネスを展開しています。グループの収益の約 9 割は、それらの地域で創出されています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した 1880 年にさかのぼり、今年で 135 年目を迎えます。日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループ HP (英語) <http://www.sc.com>

スタンダードチャータードグループ facebook (英語) www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループ Twitter アカUNT @StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP (日本語) <http://www.sc.com/jp>

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP (英語) <http://www.sc.com/jp/en/>